

自転車活用推進功績者表彰

表彰事例のご案内

2019.5.20



○門田基志 氏

【授賞理由】

・愛媛県今治市出身のMTB（マウンテンバイク）プロライダーとして、国内外のサイクリング事情に精通すると同時に、瀬戸内しまなみ海道を始めとするサイクリングによる観光振興や国際交流の推進に尽力。

・平成29年度より、愛媛県自転車新文化スーパーバイザーとして、愛媛県の自転車新文化の推進に向けたサポートを行い、愛媛県をサイクリングパラダイスに、四国をサイクリングアイランドにする取り組みに尽力。



○矢崎文彦 氏

【授賞理由】

・現在98歳の現役サイクリストであり、昭和17年の大学卒業以来77年間、自転車業界及び自転車安全利用啓発活動において献身的に貢献。

・環境保護と健康を目的とした「自転車(バイク)でエコロジー」という自転車の有効活用を推進する運動を実施する、東京葛飾バイコロジー推進協議会を設立し、葛飾区内の小学生や高齢者を対象に自転車交通安全講習会や、毎月一回、区内の駅頭で放置自転車追放の街頭啓発活動を実施。



○有限会社京都サイクリングツアープロジェクト

【授賞理由】

・平成13年6月に京都駅前で自転車観光業者（ガイド付きサイクリングツアー業、レンタサイクル業）として創業されて以来、永きにわたり、全国における自転車の観光利用の普及促進に尽力。

・サイクルツーリズムを通じた京都の魅力を国内外に幅広く発信するのみならず、利用環境整備、及び安全面での普及啓発活動等多面的な活動を行っており、地域経済の活性化等公共の利益の増進に大きく貢献。



○東日本旅客鉄道株式会社千葉支社

【授賞理由】

・房総エリアでのサイクリングイベント等において、自転車を折りたたまず、そのまま乗車できる簡易改造した列車、サイクルトレインを運行。

平成30年1月から、より快適で利用しやすいよう、自転車専用改造した新しい車両（B．B．B A S E）を毎週、土休日に房総各地へ運行を開始。

・サイクルトレインを運行することで、サイクリストの注目を集め、サイクルツーリズムの新たな魅力の一つとして、サイクリングの普及並びに交流人口の拡大及び滞在時間の延長による地域経済の活性化に大きく貢献。



○特定非営利活動法人 ポロクル

【授賞理由】

・シェアサイクル事業を通じて、市民や観光客の行動の範囲拡大、促進を図るとともに、自転車利用のルールやマナー、環境負荷低減に関する啓蒙活動等、違法駐輪削減によるまちなみ景観の向上や札幌都心部の交通環境改善、地域の活性化に資する取組を実施。

・歩行者との接触事故防止や自転車の正しい利用方法に関心を持ってもらうためのキャンペーンへの協力や、イベント実施に合わせて自転車免許教習所を開催する等、自転車のルール・マナーに関する普及啓発活動を実施。



○一般社団法人ルーツ・スポーツ・ジャパン

【授賞理由】

・全国横断型のサイクリイベント「ツール・ド・ニッポン」を主催する団体。2012年に地域資源を活かしたサイクリイベントを5地域でスタート。以後、年を追うごとに開催地域は拡大。現在は全国17地域で開催。

地方自治体と共同主催の形式を採り、地域との連携を深めつつ、継続性を確保。

・2012年には5自治体・延べ参加者2,900人の規模でスタートしたが、2018年には17自治体・延べ参加者17,000人にまで規模が拡大。現在注目されているサイクリイベントの中でも最も成功している事例の1つ。サイクリイベントを開始しようとする自治体にとって力強いパートナーとして貢献。



